

DIGITABLE 第 60 回勉強会レポート

2012年11月17日 於：江東区森下文化センター 第二研修室



テーマ：“DIGITABLE —これからの写真フロー—”

- 10：00-11：00 最新デジタル技術対決！ 高木講師、遠藤会員
D800 と D800E の画像実写比較 /Eyefay とカメラコントロール どっちが便利？
- 11：00-12：00 自作写真集と和紙印刷について 平野講師
- 13：00-13：50 ライトニングトーク（※各自3分 / 当日発表の高木、平野、遠藤 除く）
- 14：00-14：50 プロ会員3名によるリレー発表：それぞれの画像フロー（各自15分）
①デジタル写真とデータベース 平野
②当社の写真フロー 遠藤
③商品撮影館の撮影フロー 高木
- 15：00-16：00 SILKYPIX による RAW 現像セミナー
：市川ソフトラボラトリー 横山 崇 / 大堀 真一講師
- 16：10-17：10 アルファシステムズの提案するさまざまな画像の新しい利用法
：アルファシステムズ 白澤洋一講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

DIGITABLE 2012 Excite と名付けられた今回の展示はその六周年を記念しての発表会で、通常の作品の展示に加え、それぞれのテーマでのユニークな研究発表も展示された。

最終日の11月17日（土）は公開の記念勉強会が開かれ、“DIGITABLE —これからの写真フロー—”をテーマにプロ写真家3名によるそれぞれの視点からのデジタル写真ワークフローの発表、及びメーカー企業による最新の技術セミナーも開催された。

（午前の部：会員向けイベント）

最新デジタル技術対決！ 高木講師、遠藤会員

■ D800 と D800E の画像実写比較

姉妹機となるこの2モデルは、従来のデジタル一眼レフにはなかった、有効3630万画素という超高画素センサーを採用し現時点では、35mmフルサイズセンサー搭載のレンズ交換式デジタル一眼レフとして世界最高の画素数となっている。

この2機種の違いは、撮像素子の前に設置されるローパスフィルター（偽色やモアレを抑制するフィルター）の違いのみとなっており、「D800」は、一般的なローパスフィルターの効果が働くようになっているが、「D800E」は、ローパスフィルターの効果がオフになっている。これにより、「D800E」は、「D800」よりも解像感の高い画質が得られるようになっている。ただし、「D800E」は、ローパスフィルターの効果がないため、「D800」と比べて偽色やモアレが発生しやすくなる点には注意。なお、ローパスフィルターのIRコーティングや反射防止コーティングの機能は「D800E」にも共通で搭載されている。

今回の記念講座では、この二機種によって遠景、近景それぞれを同一条件で撮影しながら、画像の違いを体験、参加者の納得のいく結果が得られた。…（後略）

■ Eyefay とカメラコントロール どっちが便利？

Eye-Fi（アイファイ）は、米 Eye-Fi, Inc. が発売する無線 LAN 機能を内蔵したデジタルカメラ用 SD メモリーカード及びそれを使用したネットワークサービスだ。SD メモリーカードに無線 LAN クライアント機能を内蔵しており、SD カードスロットを搭載したデジタルカメラであれば基本的にはどの機種でも使用可能で、メモリーカードをデジタルカメラから取り出したり、デジタルカメラをパソコンに接続することなく、記録した写真データや動画データを無線 LAN によるワイヤレス通信でパソコンに転送したり、オンラインアルバムや写真共有サイトなどの各種オンライン写真サービスにアップロードすることが可能となる。

一方、プロのスタジオ現場ではカメラを PC に接続しながらの撮影が主流であったが、煩わしいコードの問題もあった。またハイエンド機にはそれぞれメーカー専用の画像転送システム＝トランスミッターが用意されていたが高価でシステムも大仰になりがちだった。

今回の記念講座では、Eye-Fi と Nikon のカメラコントロールを比較しながら、違いを体験してみた。…（後略）

自作写真集と和紙印刷について 平野講師

■自作写真集

長年自作 Portfolio としてを手作り写真集にまとめてきたが、今回 60 冊目を迎えた。今回は 60 冊目の記念で、1 号から 60 号までを振り返ったものを二刷組で、また本来の 60 号を一冊と、三冊組とした。

思えば、写真学校を卒業したころに作った第一号から 37 年近い年月が過ぎたが、まだまだ作り続けるつもりである。…（後略）

■和紙印刷について

様々な種類の和紙が販売されている。写真印刷を前提とした高級和紙や、文書印刷を前提とした安価な和紙、そのほかにも障子紙なども和紙で、調べてみると様々なメーカーが各地方にあり、銘柄や種類も実にたくさんあるのがわかる。そして、印刷結果も様々だ。

カメラ量販店などで手に入りやすいものとして、写真印刷を前提とした和紙では、光沢写真紙と同様にきれいに印刷できる和紙もある。もちろん目的は写真の印刷なので、きれいに印刷できることに異論は無いが、一方で和紙独特の色合いを含めて普通紙に印刷したような風合いを求めることも楽しい。

今回は、写真印刷を前提とした用紙ではなく、文書用など一般的な和紙への印刷を試みよう。…（後略）



（午後の部：公開記念勉強会）

ライトニングトーク

（※各自 3 分）当日発表の高木、平野、遠藤 除く全会員からのライトニングトークを行った。



プロ会員 3 名によるリレー発表：それぞれの画像フロー（各自 15 分）

■デジタル写真とデータベース（平野正志）

撮影画像と修正画像に分け、外付け HDD に保存。それぞれ約 4GB になったところで、DVD に焼き込み PDF でのコンタクトシート保存も行っている。

作品写真のデータベース化も行い、絵柄が分かるように画像を表示、検索機能も利用している。…（後略）

■仕事での作品発表（遠藤優）

長年商業写真撮影に取り組んでいるが、今回は肖像権の心配の無いインテリア、メニュー、商品写真中心に一端をお見せする。

最近のデジタル撮影では RAW 画像のまま納品して、専門のレタッチャーにより印刷化される場合と、自己で現像、修正まで行うケースとがある。…（後略）

■商品撮影館のワークフロー（高木大輔）

墨田区で 1986 年に創業、現在 TK-PRESS としてホームページ上でさまざまな事業ごとのサイトを展開している。なかでも商品撮影館は、気軽に立会いのできる下町の商品撮影スタジオとして、様々な工夫を凝らしている。

写真の撮り方のランク、画素数と使用サイズ、加工の必要性… サイト上で出来るだけ分かり易く説明して納品のトラブルを防ぐとともに、併せて発注側の参加意識（共同作業）を高める狙いもある。

現在では俯瞰撮影や特殊材質、精密撮影、特殊サイズなど、一般的に撮りづらい撮影に対応していることを強調。あえてイメージ重視の姿勢はとらず、効率よく確実な撮影の対応に心がけている。…（後略）

商品撮影館 ▶ <http://www.satsueikan.com/>



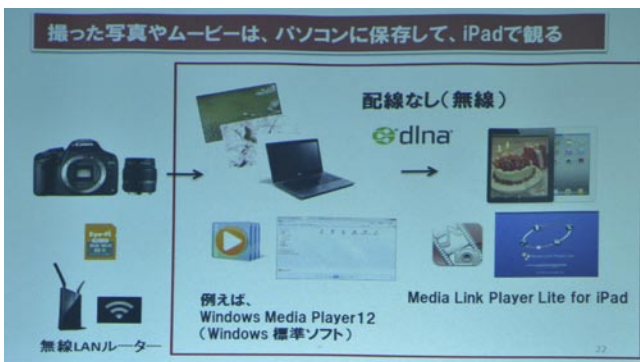
SILKYPIX による RAW 現像セミナー：市川ソフトラボラトリー 横山 崇 / 大堀 真一 講師

SILKYPIX は市川ソフトラボラトリーによる純国産の RAW 現像ソフトで、使いやすさと美しい仕上がりには定評がある。非破壊編集主義が採用され、SILKYPIX 上で行われる編集作業は全てパラメータファイルに記録され、元の RAW データには一切変更を加えないのは RAW ソフト共通の特徴だ。しかも JPEG や TIF データに対してもほぼ同様の感覚で、調整、処理が行える。（画像処理そのものはもちろん RAW に比べれば劣化が目立ち、調整幅も少ない）現像を実行した TIFF や JPEG の出力ファイルは、作業が加えられて保存されるが、オリジナルの編集パラメータ付き RAW データはそのまま残される。

Pro では二画面表示が採用され、補正前後が比較しながら調整作業できるようになった。またノイズ、偽色抑制等にも様々な改良が図られている。

色温度操作のカギは、色温度よりむしろ色偏差に負うところが大きい。元の RAW 画像だが、通常の調整作業が 14bit 圧縮 RAW で充分だが、補正範囲が来分けて大きい場合は向圧縮 RAW を選択した方がいいだろう。…（後略）

SILKYPIX Developer ▶ [Studiohttp://www.silkypix.com](http://www.silkypix.com)



アルファシステムズの提案するさまざまな画像の新しい利用法：アルファシステムズ 白澤洋一講師

「PC に保管した写真 / ムービーを iPad で観る」これが私の推奨である。

理由は、①印刷に近い高画質（264ppi）、②持ち運びしやすい、③複数人で囲んで見易い、④動画も再生できる、⑤縦の写真 / ムービーが縮小されずに観られる… 等である。

しかし欠点として、iPad の容量はあまり大きいとは言えない（16GB/32GB/64GB）。そこで写真やムービーは PC に「保管」して iPad で「再生」することが有効なのだ。

各種クラウドサービスを利用する方法もあるが、ここでは「Media Link Player (MLPlayer)」を推奨したい。

iPad や iPhone や iPod touch を DLNA クライアントに変身させるアプリだが、DLNA や UPnP 規格に準拠したメディアサーバー上のコンテンツをネットワーク経由で再生するメディアプレイヤー機能に加え、メディアコントローラー機能、メディアサーバー機能、メディアサーバー横断検索機能などでホームネットワーク体験を劇的に向上させる。重い動画ファイルもサクサク再生できるのだ。…（後略）

Media Link Player ▶ <http://www.alpha.co.jp/biz/products/dlna/mlplayer/>